

Governor's Monthly Letter

2024-2025年度 国際ロータリー第2720地区 ガバナー月信

2024-2025年度 地区ガバナー方針

「寛容な心でロータリーの未来、
そして若者の未来を考えよう」

地区重点課題

- ① ロータリーのことをもっと知ってもらおう
- ② 若者と繋がり若者のことを考えよう。
- ③ ロータリー財団を理解し活用しよう
- ④ ポリオ根絶をさせよう



青少年交換学生のみなさん

Contents

- P2 ガバナーメッセージ
- P5-7 日台インターアクト交流事業
- P8-9 地区研修協議会



国際ロータリー第2720地区
2024-2025 年度ガバナー

三村 彰吾



国際ロータリー第 2720 地区
2024 - 2025 年度ガバナー
三 村 彰 吾

みなさん、こんにちは、今年度ガバナーの三村彰吾です。ロータリーを楽しんでいますでしょうか。

今月は青少年奉仕月間です。現在、私たちは、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。その一つが青少年奉仕ですが、まずは、5大奉仕を簡単に説明いたします。

クラブ奉仕は会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。

職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。

社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。

国際奉仕は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

青少年奉仕は、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように支援することです。

青少年奉仕はその前身の新世代奉仕ということで 2010 年に追加されました。

インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換について簡単に説明します。

▼インターアクト

インターアクトは、1962 年 6 月に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。

インターアクトプログラムは、国際ロータリーの活動から発展して創設されたものであり、それ自体が国際ロータリーの活動である。組織規定、組織の要件、標準手続を定め、執行する権利、およびインターアクトの名称およびロゴの保護と保存の権利は国際ロータリーが有する。

インターアクトの目的

スポンサークラブ会員が、第5の奉仕部門である「青少年奉仕」の下、若い人たちが社会奉仕と国際

奉仕を通じて行動し、リーダーシップのスキルを養い、世界平和と文化理解を促進する世界的視野を得られるよう、積極的かつ個人的にエンパワメントに力を注ぐことを通じて、青少年と若者によってもたらされる好ましい変化を認めること。

学生と青少年が、社会的奉仕と国際奉仕を通じて行動し、新しい文化を発見し、世界市民として国際理解を促進し、学校と地域社会におけるリーダーとなるためのスキルを養い、地元と海外に友人を作り、「超我の奉仕」の重要性を認識しつつ、楽しむこと。

▼ロータリー青少年指導者育成プログラム

ロータリー青少年指導者育成プログラムは、「RYLA」としても知られており、1971年に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。

RYLA プログラムは、異なる成熟度のレベルとプログラムのニーズに合わせるため、14歳以上の子供および成人の異なる年齢層を対象とする。

目的

ロータリー青少年指導者育成プログラムは、地域社会と関わり、個人および職業人としての能力を伸ばしながら、若者のリーダーとしての資質を育成する。地域社会内の異なるニーズと関心に合わせるために、限定された年齢層のグループを対象として RYLA プログラムの内容および形式をカスタマイズすることができる。RYLA プログラムは、クラブ、地区、または多地区合同レベルで実施するものとする。

▼ロータリー青少年交換

ロータリー青少年交換は、1974年に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。

ロータリー青少年交換プログラムは、海外の人びとと交流し、外国での生活を通じて異文化を体験する機会を青少年に提供する。異文化出身の学生との交流を通じて、受入クラブ、ホストファミリー、そして地域社会が豊かになる。このプログラムは、青少年の国際理解と親善の精神を育み、平和の構築と維持に不可欠な異文化理解能力の養成に役立つものである。

以上です。

規定審議会の決定事項について（抜粋）

各日のまとめ

4月14日（月）

代表議員は、新ロータリークラブの加盟に必要な会員数を20名から15名に減らす立法案を承認しました。支持者たちは、この提案が新クラブ設立の障壁を取り除き、ロータリーの成長と会員基盤拡大を後押しする

と述べました。審議会はまた、ローターアクトの年齢制限を定める2件の立法案を否決しました。反対派は、40歳以上の現役ローターアクトの数が少ないことを理由に、制限は不要であると主張し、そのような制限は会員をロータリーから追い出す可能性があるとして主張しました。審議会はまた、クラブの名誉会員の数をクラブ正会員の5%までに制限するという案件も否決しました。反対派は、多くのクラブが名誉会員制を通じて元会員とのつながりを維持しており、その多くは貴重な経験と知識を持つ長年のロータリアンであると指摘しました。

4月15日（火）

審議会は、45分間の討論の末、全会員が国際ロータリーに納める人頭分担金を1年目に3米ドル50セント、2年目と3年目に3米ドル75セント増額することを承認しました。この案件の支持派は、コスト上昇への対応、およびクラブへの不可欠なリソースと支援業務の継続的提供のために、この増額が必要であると述べました。また、人頭分担金の増加がインフレ率を下回っていることを指摘し、これはRIがコスト削減と責任ある収入管理に取り組んでいることを示していると指摘しました。反対派は、会費の増額が会員増強の弊害となる可能性があると感じており、これまでのコスト削減についてRIがより透明性を図る必要があると考えています。代表議員はまた、3年前に審議会が承認した地区以外の地区でも、理事会が新たなガバナンスモデルを試験できるようにする措置を承認しました。現在、RIBI、ニュージーランド、オーストラリアの地区でガバナンスの試験が実施されており、会員増加に若干の成功を収めています。支持派は、ガバナーが地区を監督する制度はロータリーの初期にさかのぼると指摘し、新しいガバナンスモデルを試すことで、ロータリーが将来のニーズに適応し、新しいリーダーを研修し育成できると主張しました。

代表議員はこのほかに、理事会がゾーンの境界を決定する際に、ロータリアンの数だけでなく、文化や言語などを考慮できるようにすることに同意しました。

4月16日（水）

各審議会の冒頭に説明発表される5カ年財務見通しに、RIが講じた具体的なプロセスの改善とコスト削減策に関する最新情報を含めることを義務づけることを、代表議員が票決しました。数名の代表議員は、人頭分担金の増額の必要性を正当化するには、コスト削減のより大きな証拠が必要だと述べました。

同様の措置として、審議会は、RI運営における過程・コスト構造に関する専門的な分析を定期的に委託することを承認しました。一方で、ロータリーの年次報告に100万米ドルを超える各経費の項目別リストを含める立法案を否決しました。

日台インターアクト交流事業

ガバナー補佐 塚本 慎一郎
(八代南ロータリークラブ)

4月12日、13日の2日間、やつしろインターアクトクラブ（八代南ロータリークラブ提唱）、八代白百合インターアクトクラブ（八代東ロータリークラブ提唱）と RI 3490 地区代表の3名のインターアクターが参加しました。

今回の交流内容は懐良親王墓清掃、職業体験、キャンプやレクリエーション、学習奉仕（地元の小学校への台湾語学習）、スポーツ交流、合同例会など幅広いものでした。企画は全てやつしろインターアクトクラブが行いました。キャンプでは、日本や台湾の地元料理づくりや台湾で流行しているダンスレクリエーションなど大いに盛り上がり、お互いに良い交流になったようです。今回の交流事業についてやつしろインターアクトクラブの塚本真央

会長は「どうしたら良い国際交流ができるかを考えるのは難しかったのですが、皆で話し合い企画しました。受け入れてもらえるか、楽しんでもらえるかは半信半疑で心配でしたが、1日目の終わり頃には日本のインターアクターと台湾のインターアクターが一体となり、昔からの友達のように楽しむことができました。忙しい中、来ていただいた三村ガバナーを始め、ロータリアンの皆様のご協力に感謝しています」と感想を述べました。

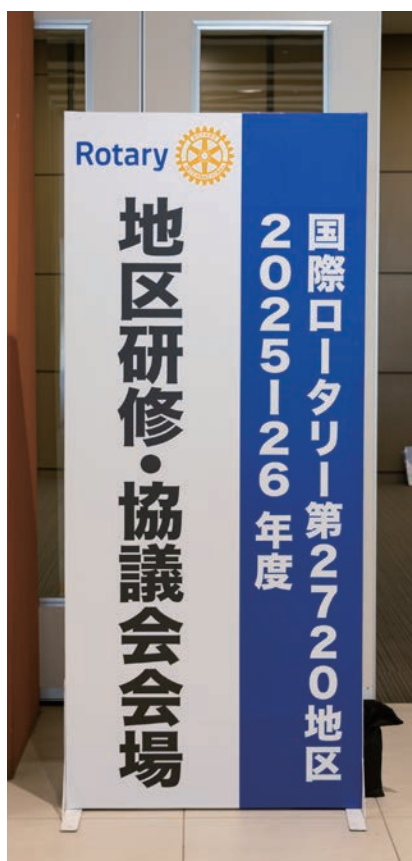
熊本市南区城南町のかたるの森キャンプ場様には、今回の交流事業に賛同していただき、運営のサポートや食材、雨対策として宿泊棟の提供などをいただきました。誠にありがとうございました。





第 3490 地区からは、王韻嫻さん、蔡子蓉さん、頼蓮心さんの 3 名が代表として参加し、1 泊 2 日の深い交流体験をスタートさせました。八代インターアクトクラブからは 23 名の団員が熱意を持っ

地区研修協議会 (4月6日開催)





10日(土) 中津中央 RC 50 周年記念式典 /RLI 卒後コース

10~11日(土~日) RIJYEM 第 17 回全国 RYLA 研究会広島会議

17日(土) 西天草 RC 50 周年記念式典

23~25日(金~日) RYLA セミナー IN 御所浦

5 2025 May
今月の予定

入退会者のお知らせ

2025.4.21 現在

入会者

新会員のご紹介をします

クラブ名			名 前		職業分類
別 府 東	森 考 矢	放課後等デイサービス			
別 府 東	堀 達 哉	料飲業			
大 分 東	中 山 伸 一	損害保険			
荒 尾	原 田 晃 志	地方銀行			
熊 本 東	石 川 ゆ か	保育園			
熊 本 グ リ ー ン	田 上 裕 章	デザイン設計			
熊 本 江 南	松 本 巡 美	ゲストハウス・民宿			
熊 本 江 南	楠 田 竜 平	商事弁護士			
熊 本 江 南	廣 島 大 樹	内装工事			
八 代 北	古 嶋 勲	商業銀行			
水 俣	赤 池 利 一	管工事			

退会者

クラブ名	名 前	職業分類
別 府 中 央	ダヴィデザナルディ	リゾートホテル
大 分	荻 原 哲	信託銀行
大 分 東	小 嶋 一 範	警備保障
大 分 東	菅 雅 幸	私立大学
大 分 臨 海	松 村 秀 治	生命保険
津 久 見	家 亀 正 行	セメント製造
荒 尾	前 田 裕 規	地方銀行
熊 本 江 南	野 口 敏 史	商事弁護士
熊 本 江 南	川 野 佑 樹	経営コンサルタント
八 代 北	椎 場 勝 次	商業銀行
八 代 南	稗 田 裕 子	鰻料理
牛 深	植 竹 尚 一 郎	新車・中古車販売
熊本城東 Yon-Nasse 衛星	松 本 泉	ビルメンテナンス業

物故会員

謹んでご冥福を
お祈りいたします



ただ よしゆき
玉田 義征 会員

豊後大野 RC

2025 年 11 月 16 日ご逝去

享年 86 歳

1998 年 6 月 30 日入会

ロータリー歴 26 年

(12・21・25・29 代会長)



2025 年 3 月 会員数報告

グループ	クラブ名	会 員 数				
		年初 (7/1)	当月末	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減
熊本第一	山 鹿	12	12	0	0	0
	玉 名	48	46	5	7	-2
	荒 尾	34	33	1	2	-1
	玉 名 中 央	8	7	0	1	-1
	(4 R C)	102	98	6	10	-4
熊本第二	阿 蘇	32	32	0	0	0
	肥 後 大 津	26	25	0	1	-1
	菊 池	17	17	0	0	0
	肥 後 小 国	13	13	1	1	0
	熊 本 菊 南	16	14	0	2	-2
	熊 本 '05 福 祉	9	9	0	0	0
	熊 本 り ん ど う	17	18	1	0	1
熊本第三	(7 R C)	130	128	2	4	-2
	熊 本	87	88	10	9	1
	熊 本 東	41	38	4	7	-3
	熊 本 北	5	5	0	0	0
	熊 本 東 南	41	39	0	2	-2
	熊 本 城 東	30	30	1	1	0
	熊本城東Yon-Nasse衛星	0	9	12	3	9
	熊 本 グ リ ー ン	21	20	2	3	-1
	熊 本 平 成	23	20	0	3	-3
	熊 本 水 前 寺 公 園	9	7	0	2	-2
熊本第四	(8 R C + 1 R S C)	257	256	29	30	-1
	熊 本 南	64	66	4	2	2
	熊 本 江 南	53	53	5	5	0
	熊 本 西 南	24	26	2	0	2
	熊 本 西	6	8	2	0	2
	熊 本 中 央	25	25	0	0	0
	熊 本 西 稜	21	17	2	6	-4
熊本第五	(6 R C)	193	195	15	13	2
	八 代	76	76	4	4	0
	八 代 北	21	23	3	1	2
	八 代 南	44	44	4	4	0
	宇 土	14	14	0	0	0
	八 代 東	42	44	5	3	2
熊本第六	(5 R C)	197	201	16	12	4
	人 吉	48	52	4	0	4
	水 俣	23	23	2	2	0
	多 良 木	20	19	0	1	-1
	芦 北	22	23	1	0	1
	人 吉 中 央	34	33	1	2	-1
	(5 R C)	147	150	8	5	3
熊本第七	天 草	48	49	1	0	1
	牛 深	19	17	0	2	-2
	西 天 草	21	20	1	2	-1
	天 草 中 央	39	40	2	1	1
	天草パールライン	15	15	0	0	0
	(5 R C)	142	141	4	5	-1
熊本40RC+1RSC計		1,168	1,169	80	79	1

グループ	クラブ名	会 員 数				
		年初 (7/1)	当月末	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減
大分第一	中 津	46	46	1	1	0
	日 田	53	53	1	1	0
	中 津 中 央	17	17	0	0	0
	日 田 中 央	42	43	1	0	1
	玖 珠	16	17	2	1	1
	中 津 平 成	25	25	0	0	0
	(6 R C)	199	201	5	3	2
大分第二	豊 後 高 田	39	40	2	1	1
	宇 佐	26	26	0	0	0
	杵 築	13	12	0	1	-1
	杵築 one heart 衛星	7	7	0	0	0
	く に さ き	19	20	1	0	1
	宇 佐 八 幡	26	26	0	0	0
	宇 佐 2 0 0 1	23	23	2	2	0
	(6 R C + 1 R S C)	153	154	5	4	1
大分第三	別 府	39	40	2	1	1
	別 府 北	34	36	2	0	2
	別 府 東	42	43	1	0	1
	日 出	15	16	1	0	1
	別 府 中 央	18	17	0	1	-1
	湯 布 院	12	13	2	1	1
	(6 R C)	160	165	8	3	5
大分第四	大 分	49	50	7	6	1
	大 分 東	31	35	6	2	4
	大 分 臨 海	52	50	1	3	-2
	大 分 南	37	42	6	1	5
	大 分 中 央	86	89	6	3	3
	大 分 1 9 8 5	27	27	1	1	0
	大 分 城 西	28	29	2	1	1
	大分キャピタル	56	58	2	0	2
	大分キャピタルOli Oli衛星	23	24	1	0	1
	2720 J.O.K REC	51	59	11	3	8
大分第五	(9 R C + 1 R S C)	440	463	43	20	23
	竹 田	18	18	2	2	0
	佐 伯	30	32	2	0	2
	臼 杵	31	32	3	2	1
	津 久 見	34	33	2	3	-1
	豊 後 大 野	12	11	1	2	-1
	佐 伯 MARINE	30	31	4	3	1
	(6 R C)	155	157	14	12	2
大分33RC + 2RSC計		1,107	1,140	75	42	33
73RC+3RSC 総 計		2,275	2,309	155	121	34

RI2720地区事務所

〒860-0807 熊本市中央区下通2-7-7 R-terrace4F

TEL.096-312-2720 Fax.096-355-2720

E-mail : ri2720gof@eos.ocn.ne.jp